

平成28年度地域リハビリテーション出前講座実施結果

高齢者や障害のある方を含めた全ての人が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け、子供の頃から適切な健康感やノーマライゼーションに対する関心を深めることを目的に実施。

1. 講師

千葉県リハビリテーション支援センター所属のリハビリテーション専門職

2. 実施内容

応募のあった全12校で実施をした。

(千葉市：4校、木更津市：1校、松戸市：2校、柏市：1校、市原市：1校、八千代市2校、大網白里市：1校)

実施内容は、車椅子体験（段差の登り降り等）や高齢者の疑似体験（歩行・視力・聴力）を行った。

3. アンケート結果（抜粋）

今後もこのような出前講座があったら申込みたいと思うか。	
思う	8
場合によっては思う	1 (時間や場所の都合が付き、専門的な内容の場合)
わからない	0
思わない	0

(1) 児童

- ・体の不自由な方が弱そうな人から「すごい人」にかわった。
- ・声をかけてから手伝うことを知った。
- ・高齢者の気持ちがわかった。これから「どうすればもっとやりやすいのか」「どうすればもっと分かりやすいのか」を考えていきたい。
- ・リハビリのことを知ることができてよかった。老人の方は、少しみんなと違うかもしれないけれど、工夫をすれば自分でもできるのだと感じた。
- ・リハビリとリハビリテーションが同じということを初めて知った。

(2) 教員

- ・内容は大変良く子供たちにとって貴重な体験になりました。
- ・様々な体験ができたのでその後の学びが広がりました。
- ・専門的なお仕事をされている方々から教えてもらえることは、子供たちにとって新しい世界を知る一歩となりました。

4. 今後の実施について

来年度以降も引き続き実施を予定。講師は千葉県リハビリテーション支援センターのほか、広域支援センターへも協力依頼する。